



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月22日

上場会社名 株式会社 スーパーツール
コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部次長 (氏名) 高塚 博

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 2024年1月26日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年3月16日～2023年12月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,477	12.4	314	29.1	329	27.4	228	25.5
2023年3月期第3四半期	5,113		442		454		306	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 265百万円 (13.3%) 2023年3月期第3四半期 306百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	98.31	
2023年3月期第3四半期	137.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,112	10,524	80.3
2023年3月期	12,982	10,395	80.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 10,524百万円 2023年3月期 10,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		35.00		35.00	70.00
2024年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年3月16日～2024年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	5.5	550	5.0	560	4.1	400	9.8	172.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	2,366,078 株	2023年3月期	2,366,078 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	37,836 株	2023年3月期	50,825 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,321,729 株	2023年3月期3Q	2,226,085 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに起因する行動制限の緩和による経済活動の正常化が進み、個人消費に持ち直しが見られるなど景気は緩やかに回復しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化などによるエネルギー価格や原材料価格の高騰、世界的な金融引締めに伴う影響や中国の景気減速など依然として先行きの不透明な状況で推移しております。

このような状況のなか、金属製品事業につきましては、販売拡大、ブランドイメージ向上及び認知度向上を目指した取り組みに注力しながら、販促施策においては、メディアでも紹介されたゴジラとのコラボ製品「モーターレンチ（メカゴジラ仕様）」を発売するなど効果的な企画の実施や全国各地で活発に行われる各種展示会への出展など積極的な営業活動を行ってまいりました。また、製品開発においては、作業効率向上を目指したクレーン類の新製品や、サイズ拡大により、さらなる利便性向上を目指したレンチ類の発売などユーザー目線に立った製品開発に取り組むとともに、当社の主力製品の生産能力増強及び生産効率向上のための鍛造設備改修などを実施し、収益の安定化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として厳しい事業環境が継続するなか、太陽光発電所の施工などに注力しながら、収益確保に努めてまいりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,477百万円（前年同四半期比635百万円減、12.4%減）、営業利益は314百万円（前年同四半期比128百万円減、29.1%減）、経常利益は329百万円（前年同四半期比124百万円減、27.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は228百万円（前年同四半期比78百万円減、25.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

国内市場では、作業工具の分野においては、豊富なラインナップにより、様々な機械のメンテナンスに適したブローラー類が底堅く推移いたしました。また、産業機器の分野については、作業性と安全性を兼ね備え、あらゆる荷役作業に対応した吊クランプ類が効果的な販売施策により堅調に推移いたしました。

海外市場においても、主要製品の吊クランプ類の販売に注力するなか、当社の主要市場である韓国では、造船関連分野向け製品の売上高が順調に推移しました。その他の地域においても、安全性と日本製であることをアピールポイントとし、顧客への適時のアプローチと協議を重ね、関係強化に努めるとともに的確な市場状況の分析による効果的な販売施策の取り組みなど積極的な営業活動に取り組み、売上高が順調に推移しました。

一方でエネルギー価格や原材料価格の高騰などにより、原価全体が高止まりで推移するなか、原価低減活動を進めておりますが、昨年6月度以降の受注分より順次販売価格の改定を実施しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は3,922百万円（前年同四半期比39百万円減、1.0%減）、セグメント利益は544百万円（前年同四半期比120百万円減、18.1%減）となりました。

(環境関連事業)

取り巻く事業環境は依然として厳しさが続くなか、より一層の筋肉質な事業体制構築を目指し、自然環境への配慮や設置コスト、発電効率面で優位性のある水上設置型太陽光発電所の施工および関連部材の販売に努めてまいりました。なお、売電部門では、3ヵ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は554百万円（前年同四半期比595百万円減、51.8%減）、セグメント利益は58百万円（前年同四半期比17百万円減、23.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1.0%増の13,112百万円(前連結会計年度は、12,982百万円)となり前連結会計年度末に比べ129百万円増加しました。

この主な要因は、流動資産では、現金及び預金の増加284百万円、未収入金の増加136百万円、受取手形及び売掛金の減少512百万円、前渡金の減少300百万円等であり、固定資産では、長期未収入金の増加451百万円、有形固定資産のその他(純額)に含まれる建設仮勘定の増加201百万円、機械装置及び運搬具(純額)の減少63百万円等があります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比0.0%増の2,588百万円(前連結会計年度は、2,587百万円)となり前連結会計年度末に比べ1百万円増加しました。

この主な要因は、流動負債では、支払手形及び買掛金の増加114百万円、未払金の増加88百万円、未払法人税等の減少60百万円、前受金の減少55百万円等であり、固定負債では、長期借入金の減少74百万円等があります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1.2%増の10,524百万円(前連結会計年度は、10,395百万円)となり前連結会計年度末に比べ128百万円増加しました。

この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加35百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上228百万円、配当金の支払いによる減少162百万円等があります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年10月13日付「2024年3月期第2四半期決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,446,638	1,730,773
受取手形及び売掛金	1,469,627	957,319
商品及び製品	1,678,240	1,630,286
仕掛品	1,199,820	1,257,957
原材料及び貯蔵品	431,088	426,034
前渡金	314,180	13,815
未収入金	11,125	147,215
その他	119,902	31,429
流動資産合計	6,670,623	6,194,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	367,234	346,214
機械装置及び運搬具(純額)	779,578	716,556
土地	4,544,607	4,544,607
その他(純額)	77,819	275,319
有形固定資産合計	5,769,240	5,882,697
無形固定資産	56,364	48,794
投資その他の資産		
投資有価証券	332,309	387,845
長期未収入金	—	451,252
繰延税金資産	116,453	113,001
その他	37,921	34,420
投資その他の資産合計	486,683	986,520
固定資産合計	6,312,288	6,918,011
資産合計	12,982,912	13,112,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月15日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,034	531,380
1年内返済予定の長期借入金	99,960	99,960
未払金	166,772	254,903
返金負債	57,291	66,103
未払法人税等	91,640	31,530
前受金	97,468	42,335
賞与引当金	48,556	12,294
その他	67,018	69,310
流動負債合計	1,045,741	1,107,818
固定負債		
長期借入金	337,660	262,690
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
繰延税金負債	—	2
退職給付に係る負債	180,101	194,112
その他	1,002	1,002
固定負債合計	1,541,396	1,480,440
負債合計	2,587,137	2,588,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,235,090	2,235,090
資本剰余金	1,167,519	1,163,598
利益剰余金	4,663,468	4,729,213
自己株式	△114,790	△85,408
株主資本合計	7,951,288	8,042,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127,771	163,599
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
為替換算調整勘定	△386	1,391
その他の包括利益累計額合計	2,444,485	2,482,090
純資産合計	10,395,774	10,524,585
負債純資産合計	12,982,912	13,112,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月16日 至 2022年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月16日 至 2023年12月15日)
売上高	5,113,026	4,477,603
売上原価	3,715,607	3,208,075
売上総利益	1,397,419	1,269,527
販売費及び一般管理費	954,484	955,446
営業利益	442,934	314,081
営業外収益		
受取利息	1	16
受取配当金	8,972	10,142
助成金収入	153	4,470
為替差益	14,441	570
その他	2,235	2,966
営業外収益合計	25,804	18,167
営業外費用		
支払利息	2,695	2,117
株式交付費	9,220	—
その他	2,384	353
営業外費用合計	14,299	2,471
経常利益	454,439	329,776
特別利益		
固定資産売却益	99	818
特別利益合計	99	818
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	454,539	330,595
法人税、住民税及び事業税	152,242	114,696
法人税等調整額	△4,287	△12,357
法人税等合計	147,954	102,339
四半期純利益	306,584	228,255
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,584	228,255

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月16日 至 2022年12月15日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月16日 至 2023年12月15日)
四半期純利益	306,584	228,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	598	35,827
繰延ヘッジ損益	△1,130	—
為替換算調整勘定	442	1,777
その他の包括利益合計	△89	37,605
四半期包括利益	306,494	265,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,494	265,860
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月7日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は29,661千円（13,133株）減少いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式は85,408千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年3月16日 至 2022年12月15日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,962,743	1,150,283	5,113,026	—	5,113,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,962,743	1,150,283	5,113,026	—	5,113,026
セグメント利益	664,485	76,541	741,026	△298,091	442,934

(注) 1 セグメント利益の調整額△298,091千円には、セグメント間取引消去1,782千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△299,874千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年3月16日 至 2023年12月15日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,922,993	554,609	4,477,603	—	4,477,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,922,993	554,609	4,477,603	—	4,477,603
セグメント利益	544,323	58,804	603,127	△289,046	314,081

(注) 1 セグメント利益の調整額△289,046千円には、セグメント間取引消去1,516千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△290,563千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。